The Property Surveyors Association of Nagasaki

長崎県土地家屋調査士会

第6号

（平成28年3月発行）

WEB 会報長崎

境界紛争ゼロ宣言

長崎県土地家屋調査士会

土地家屋調査士倫理綱領

１．　使　命

不動産に係る権利の明確化を期し、国民の信頼に応える。

２．　公　正

品位を保持し、公正な立場で誠実に業務を行う。

３．　研　鑽

専門分野の知識と技術の向上を図る。

表紙の説明

『境界紛争ゼロ宣言』と『島原守護神・しまばらん』

『妖怪ウォッチ』というものについて、詳しく知らないという人も名前については聞いたことがあると思います。もともと少年コロコロコミックという雑誌に連載された作品であり、後に任天堂３ＤＳのゲームソフトとして発売された作品でした。その後、テレビアニメ放送され以降、小学生を中心に爆発的に人気が広まり、現在では子供達だけでなく親世代の間でもブームになり、日本中で社会現象を起こした人気作品です。その『妖怪ウォッチ』の作者である小西紀行さんの出身地は長崎県島原市です。地元島原市への熱い郷土愛を強く持ち､島原市の公式キャラクターをデザインしていただきました。そして『島原守護神・しまばらん』が誕生いたしました。

目　　次

○平成28年 新年の挨拶	会　長	針本久則	・・　2
	副会長	船津　学	・・　4
○支部長挨拶	長崎支部	田川　康	・・　6
	諫早支部	髙嶋典之	・・　7
	島原支部	中川忠則	・・　8
	五島支部	山下賢一	・・　9
○第 30 回日本土地家屋調査士会連合会 親睦ゴルフ長崎大会(ゴルフ・観光) 報告		広報部	・・　１２
○長崎県立鹿町工業出前授業 報告		広報部	・・　１７
○長崎県立北松農業高校出前授業 報告		広報部	・・　１９
○島原市立第二中学校出前授業 報告		広報部	・・　２１
○島原市との空家協定締結調印式 報告		広報部	・・　２５
○平成27年度第2回全体研修会 報告		研修部	・・　２６
○連合会便り	日本土地家屋調査士会連合会 理事	山口賢一	・・　２７
○平成27年度九B新人研修会 報告	長崎支部	前田宏光	・・　２９
	長崎支部	深堀正文	・・　３０
	五島支部	木場盛雄	・・　３１
○事務局から挨拶		事務局	・・　３２
○編集後記		広報部	・・　３５
○企業広告			・・　３６

平成２８年　新年の挨拶

会　長　針本　久則

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。日頃から、本会の会務運営にはご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。今年一年も、役員並びに事務局職員共々よろしくお願いいたします。

さて、昨年長崎市においては、「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産として登録され、軍艦島やグラバー園などの観光地には、観光客が沢山訪れ賑わいをみせております。

昨年実施した、日調連の親睦ゴルフ大会で観光に参加された皆様も軍艦島の観光を堪能され、満足して帰っていただきました。参加して頂いた全国からの会員並びにそのご家族の方に感謝申し上げます。また、この大会に対し、ご協力いただいた当会の会員の皆様にも大変感謝申し上げます。

前夜祭の様子

近年、土地家屋調査士の受験者数が徐々に減っており、平成２４年にはその受験者数が５０００人を切ってしまいました。受験者数が５０００人を切ると、資格そのものが危ういとも言われております。連合会としても、その対策を色々な角度から行っています。

私たちの資格（仕事）が何なのかをもう一度考え、対策を考える必要があると思います。

私たちの仕事を担っていくのはこれからの若い世代であります。若い世代の人たちに、魅力のある仕事として捉えられるためにはどうしなければならないかを考える必要があると思います。これまでの私たちの仕事が、「きつい」、「きたない」、「儲からない」等と言っているようでは、何の魅力もありません。

先ず、業務の内容を理解し、報酬額の単価がどのような形で算出されているのか、そのサイクルタイムを理解する必要があります。そうすることにより、一つ一つの単価にもその根拠があることが分かり、やるべき業務内容が分かってくる筈であります。ですから、簡単に業務の質を下げたり、報酬額を下げたりして、自分だけの利益のために仕事を受注することはできない筈です。

会員皆が、質の高い業務をしていけば自ずと報酬額も業務に見合った報酬になるものと思います。そうすることにより、

私たちの資格の意義・使命感も社会に認知されていくものと思います。

平成２７年６月から、長崎会が九州ブロック協議会の事務局となっております。私が九州ブロック協議会の会長として、また、船津副会長が事務局長として、九州８県の世話をしております。

九州ブロックとしては、各単位会の取り纏め並びに単位会と日調連の橋渡しの役目をしているものと考えております。

九州ブロックとしての活動につきましては、昨年６月の総会で承認された次の事業を行っております。

担当者会同については、毎年各県会の担当者による意見交換の場として取り組んでおります。また、次の日には、ゴルフ大会を実施して、各単位会及び会員相互の親睦を図る為に毎年行っております。

また、新人会員の資質の向上並びに親睦を図る為に、２泊３日の新人研修会を行っています。

更に、ブロックとしての研修会も行っており、昨年は四国、中国ブロック共同での研修会を愛媛県の松山市で開催しました。

次年度も引き続き各単位会並びに会員の親睦を図る為、活動していきたいと思っております。

昨年の長崎会の総会で、私はこの土地家屋調査士の仕事を魅力のある職業にしようという事で皆様に発信をしました。

今、本会では、社会貢献の一環として、「災害復興支援協定」や「空き家等対策に関する協定」を各自治体と締結しております。この事が新聞等で報道されることにより、私たちの土地家屋調査士という名前が県民に知られるところになります。

島原市と空き家等対策に関する協定

次年度も引き続きこれらを継続し、社会に対する貢献と知名度をあげるべき活動を行って参りたいと思っております。

また、私たちの資質を向上させるためにも、意義のある研修会を実施します。一人一人が豊かで心に余裕のある業務を行って欲しいと思います。その為にも、研修会には会員全員が参加するよう強く要望いたします。

最後になりましたが、会員の皆様にとり今年一年もよき年であるよう祈念申し上げ、新年の挨拶といたします。

平成２８年　新年の挨拶

副会長　　船　津　　学

会員の皆様、2016 年新たな年がスタートいたしました。
WEB 会報を通じ、改めまして新年の挨拶を申し上げます。

さて、昨年ですが私は１年目の長崎県土地家屋調査士会副会長、また九州ブロック協議会の事務局長を拝命いたしました。

総務部長兼務の副会長ということもあり身が引き締まる思いで襟を正し、この１年間会務に携わって参りました。
会員の皆様、部員の皆様、事務局職員の皆様のご協力がありまして無事に今年度の事業計画も概ね完了することができました。
その中でも一昨年から継続して進めております災害復興支援協定の締結の件ですが、今年度は大村市と協定の締結が進んでおります。
現在は長崎県、長崎市、島原市、諫早市と締結が完了しております、今後も各自治体と締結が進んで行くことと思われます。
ただしこの災害復興支援協定は締結することがゴールではなく、今後何か有事の際に私達土地家屋調査士という専門性が必要なときに積極的に協力するという意識のもと、土地家屋調査士の業務内容や組織の内容等を、協定を結んだ各自治体に継続してアピールしていかなければいけないと思います。

そして、テレビ等でも話題になっておりますが、「空家等対策の推進に関する特別措置法」につきましても土地家屋調査士の業務に関連性がある部分も多くあると思われます。
この件に関しましては長崎県下の各自治体へ空き家等特別措置法第７条における協議会への土地家屋調査士の参入をよびかける文書を提出しております。またその中でも島原市においては中川支部長のご尽力あり全国でも数番目となる自治体との協定まで結ぶことができました。
今後も自治体等との様々な関わりが出てくるかと思います、会として各自治体と積極的にコミュニケーションを取ることもとても大切であり、啓蒙活動、土地家屋調査士のアピールにもなると思っております。

新年度への大きな変化としましては不動産登記規則第 93 条の調査報告書の改正が行われます。移行期間が６カ月ありますが早めに移行していけるよう本会としましても３月９日の第３回全体研修会で改正に関する伝達研修を行いました。
93 条調査報告書ですが、法務局への登記申請に係る登記官の実地調査省略、また

原本提示省略への大事な一歩となる改正であると考えております。

　こうしたことから土地家屋調査士の信頼度アップへ繋がっていくと思いますので、魅力ある土地家屋調査士を目指し全ての会員の皆様のご協力をお願いいたします

長崎支部の紹介

長崎支部長　田川　康

新年明けましておめでとうございます。本年が、会員の皆様にとって、幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。

さて、長崎支部では、毎週火曜日（午後１３時～１６時）に、長崎市役所において登記無料相談会を実施しております。土地家屋調査士以外にも、司法書士、税理士、弁護士等の相談会も同じ曜日または違う曜日に行われています。

この､登記相談会が始まりましたのは、遡ること昭和５２年のことで、当時広報活動の一環として始められた、とのことです。（長崎支部　定時総会資料による）

既に３８年の長きに渡って広報活動を行っていることになります。この活動によって、土地家屋調査士の知名度が飛躍的に上がった、とは言えませんが、多くの先輩方の努力の積み重ねが、今日に生かされていると思います。昨年度も、３４件の相談があり、長崎市民にとって不可欠なものとなっています。

相談内容については、多岐に及んでおり、登記手続きについて、登記の報酬額について、そして、事件を委任している土地家屋調査士への不満について等です。やはり、一番気を付けないといけないのが、我々土地家屋調査士についての不満です。中には､「依頼者にとって優位になるよう境界を決めてくれない」などのわがままな意見もありますが、それはさて置き、不満のほとんどの原因が、土地家屋調査士の説明不足であるように思われます。

具体的な事例は、ここでは挙げられませんが、我々からすると当たり前のことで、当然相手も理解してもらえている、と思っていたことが、この相談会において多くの依頼者がよく理解をしていないことに気付きます。

よく話を聞いて､丁寧に説明をすると、多くの相談に来た方々は､｢そういう風にちゃんと説明をしてくれると分かる｣といって帰られます。

やはり、我々土地家屋調査士に必要なのは、知識と技術も然ることながら説明する力と根気強さ、総じてコミュニケーション能力であると感じずにいられません。

この登記無料相談は、長崎市民にだけでなく、我々土地家屋調査士においても改めて考えさせられる必要不可欠な場所のようです。

他の会員が担当する登記無料相談で、自分の不満を言われて無いよう祈りつつ、我々長崎支部会員は、約１年に１回、登記無料相談の為、長崎市役所へこれからも向かい続けます。

諫早支部の紹介

諫早支部長　髙島　典之

諫早支部は諫早市に事務所を有する会員３０名、雲仙市に事務所を有する会員７名の合計３７名で若手とベテランとがうまく噛み合って活動しています。

支部役員として支部長、副支部長、会計、幹事２名、監事２名の７名で執行しています。

支部事業として全国一斉表示登記無料相談会、支部研修会、忘年会等があります。

無料相談会は諫早市２会場、雲仙市１会場で実施しており、担当は偏らないようローテーションを組み二人一組で午前午後に別れて行っています。

広報は市民広報とタウン誌に掲載し土地家屋調査士の知名度を少しでも広げる努力をしています。

今後も継続し「境界問題ゼロ」に少しでも近づく活動になればと思います。

支部研修、忘年会の参加も多数あり、活性化とつながりを非常に感じることができます。

今後も会員の交流の輪の拡大と親睦を深められるような事業を計画し、支部の運営についても活発な意見がでてくるような事業を実施したいと思います。

「空家等対策に関する協定」の締結

長崎県土地家屋調査士会　島原支部長中川忠則

平成27年5月「空家等対策の推進に関する特別措置法」が全面施行され、治安や防災・衛生上問題があると懸念される空家等の所有者等に対し、市町村が改善に向けた立入調査・指導・助言・命令ができるようになった。
これを受け、長崎県土地家屋調査士会では平成28年1月27日に、針本会長や県役員、島原支部長が出席し、古川島原市長と「空家等対策に関する協定」を県内で初めて締結した。全国でも2番目の協定締結と聞いている。
島原市では、1年以上使用されていない空家と思われる建物が約680件あると把握しており、協定の締結により、長崎県土地家屋調査士会としては、島原市が設置する協議会に加わり、専門性を生かし、空家対策の計画策定や空家等の未然防止、流通、活用などの総合的な対策推進に協力していくことになる。今後は、随時県内の市町と協定を締結していく予定で、長崎県のより良い街並みの維持に貢献していきたいと考えている。
また、協定書締結式には、島原市出身で漫画「妖怪ウォッチ」の作者、小西紀行氏が島原市を代表するスィーツ「かんざらし」をモチーフに作製された、島原守護神「しまばらん」が立会人として出席し、和やかな締結式となった。

【締結式の模様】

五島支部研修会の紹介

五島支部長　　山下　賢一

五島には恵まれた歴史的建築物と自然環境がたくさん存在しており、近年は世界遺産登録候補の一つとして新上五島町の頭ケ島天主堂、五島市（奈留町）の江上天主堂、五島市（久賀町）の旧五輪教会堂が取り上げられています。

また、観光資源としての自然環境も豊富に存在していますが、まず、新上五島町網上郷にある高さ約120メートルの無人の岩山で正式名称は「矢堅目（やがため）」といいますが、別名でトトロ岩とも呼ばれております。

横から見るとあの『となりのトトロ』にでてくるトトロに見えるということからそう呼ばれています。今回、ＵＡＶ（ドローン）を利用してトトロ岩を空中撮影してみました。上五島に来島された際にはぜひ、トトロに見えるかどうか確認していただければと思います。

次に紹介したい場所は奈留島にある「千畳敷（せんじょうじき）」です。奈留島の舅ヶ島海水浴場から小島へと連なる広く平坦な岩礁で、畳が１０００枚は敷けそうな位広いことから名付けられました。

五島支部では近年支部研修会を実施しておりませんでしたが、年々土地家屋調査士としての求められてくる能力が高度化してきており、これらに対応していくために昨年より研修会を開催していくことにしました。

第一回目としまして、昨年１２月に『ＱＧＩＳを利用した重ね図の作成』の研修会を行いました。

参加者は支部会員１３名中、１１名が出席し、研修内容は、地理院地図・１４条地図・現況平面図・地積測量図・ＵＡＶによるオルソ画像等さまざまなデータを利用して、重ね図を作成するという内容でした。

各自パソコンを持参してＧＩＳソフトを実際に操作し触れることにより研修を行ないましたが、はじめはとまどいつつも日常ＣＡＤに触れているため、コツをつかむとスムーズに利用できるようになり、研修会の目的は達成できたのではないかと思いました。

今後、ＧＩＳによる空間データ処理能力が必要となることはもちろん、ＧＩＳを利用した説得力のある資料作成能力が求められてくることとなると思い継続的に開催したいと思っております。

今回の研修会の開催について会員からは「今後もＧＩＳの研修を開催してほしい。」、「最新の測量技術についての研修を開催してほしい。」といった前向きな意見もあり、早速次回の研修会に向けて準備を進めているところであります。

今年度予定している研修会は、外業を取り入れた研修とするためＵＡＶ（ドローン）

による空中写真測量の研修を行う予定です。

空撮場所は奈留島の「千畳敷」で畳が何枚敷けるか確認するための研修を開催したいと考えております。

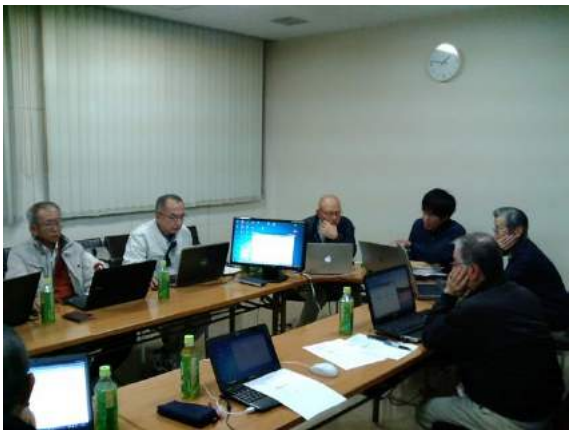
また、今後この技術を利用して自然環境の３次元デジタルデータ化を行い、五島の観光資源をＰＲするための新しい広報手段として提供することで五島支部として、地域に貢献ができるのではないかと考えております。

新上五島町網上郷　正式名称は「**矢堅目（やがため）**」という名称で、別名トトロ岩。

新上五島町網上郷　トトロ岩の上空から撮影。

五島市の奈留島にある

「千畳敷（せんじょうじき）」



五島支部研修会

ＱＧＩＳを利用した重ね図の作成

第 30 回日本土地家屋調査士会連合会親睦ゴルフ長崎大会（ゴルフ・観光）報告

長崎県土地家屋調査士会　船津　学
川崎　勝

＜前夜祭＞

平成 27 年 9 月 27 日（日）長崎リゾートアイランドパサージュ琴海において、林連合会会長、針本長崎会会長のあいさつに始まり、盛大に開催されました。

ゴルフに参加される方も観光に参加される方も一緒に親睦を深められておられました。また余興では、宮崎会会員によるひょっとこ､長崎会会員によるバナナのたたき売り、そして、土地家屋調査士会を元気に！が合言葉の地元アイドルユニット『SASEBO キャンディーズ』のショーが行われ、大変盛り上がりました。

繁華街から離れた場所に位置するリゾートホテルですので二次会等はございませんでしたが大自然の中のゆったりとした時間をお楽しみいただけたかと思います。

翌日観光に参加に方々には前夜祭終了後に長崎市内のホテルまで貸切りバスにて移動していただきました。

参加者　前夜祭 139 名

＜ゴルフ大会＞

翌 28 日（月）パサージュ琴海アイランドゴルフクラブにおいて午前7時36分にスタートいたしました。

広大な半島の全てを利用して設けられた１８ホールはシーサイドコースの変化に富んだフェアウェイ、３つの海越えホールをはじめとしたアンジュレーションの巧みなグリーンなどそれぞれの魅力をもった全国屈指のリンクスコースです。

また前々週にはコニカミノルタ杯女子プロゴルフトーナメントが開催されており、注目度も高く、またコースコンディションも最高の状態で今回のゴルフ大会を開催することが出来ました。多くの方に参加いただきまして参加者同士親睦を深めることができました。

名物の海越えのショートホールは１オンしなかった場合には 500 円以上の寄付をお願いするチャリティーホールにさせていただきました。たくさんのご寄付ありがとうございました。

今回のチャリティーで集まりましたお金は連合会を通じ大規模災害基金にお渡しいたしました。

参加者　ゴルフ大会 121 名

＜成　　績＞　（敬称略）

順　位	氏　名	所属会	グロス	HDCP	ネット
優　勝	坂本　尚夫	佐賀	87	15.6	71.4
準優勝	小暮　立一	埼玉	91	19.2	71.8
３　位	野里　壽史	岩手	78	6.0	72.0

ベストグロス

順　位	氏　名	所属会	グロス	HDCP	ネット
１　位	中村　宏道	大分	76	1.2	74.8
２　位	野里　壽史	岩手	78	6.0	72
３　位	伊藤　秀三	広島	79	4.8	74.2

＜表彰式＞

プレー終了後に成績発表と表彰式は食事をとりながら行われました。

全国から多数の協賛をいただき、とても豪華な賞品がたくさん用意されました。

改めまして全国の皆さまありがとうございました。

来年は北海道にて行われる予定ということですので、長崎会からも参加いたします。
日調連親睦ゴルフ大会を準備から実行まで終えて、全国の皆様との親睦、交流といった機会はとても大切であり、また有意義なことであるとあらためて感じました。
ご参加いただいた皆さま本当にありがとうございました。

＜観光＞

平成２７年９月２８日（月）実施の観光には３１名の申し込みをいただきました。端島炭鉱（軍艦島）の上陸をメインに観光するコースに２３名、軍艦島の周遊とグラバー園をメインに観光するコースに８名参加いたしました。そのうち２７日（日）パサージュ琴海での前夜祭に２８名参加いただきました。
前夜祭終了後はパサージュ琴海に宿泊される方とエスペリアホテル長崎に宿泊される方とに分かれまして、長崎市内へバスで移動となりました。夜の移動となりましたが、長崎会の前田利孝副会長のガイドにより、長崎の観光名所の説明、お土産のカステラの話題などで盛り上がりました。エスペリアホテル長崎到着後はそれぞれ自由行動となりました。長崎繁華街の思案橋方面へ繰り出される方や、世界新三大夜景に認定されました稲佐山からの夜景を見に行く方がおられ、それぞれ長崎の夜を楽しまれたようです。

いよいよ観光当日９月２８日(月)の朝、貸し切りバスでパサージュ琴海を７時３０分に出発し、長崎市内へ向かいます。エスペリアホテル長崎、長崎駅で観光参加者に乗り合わせいただき、９時過ぎには長崎の海の玄関口「大波止ターミナル」へ到着。長崎市の南部と西部を結ぶ国内６番目の長さの「女神大橋」を背景に全員集合での写真撮影を行いました。

軍艦島周遊コースは大波止ターミナルから「やまさ海運」が運行する船で約２時間かけて軍艦島を周遊します。上陸コースは大波止ターミナルからバスで５分ほど移動し「常盤ターミナル」から「軍艦島コンシェルジュ」が運行する船で上陸を目指します。天候は晴れでしたが、台風の影響で若干風が強く、海上の波も２ｍで少々高めです。上陸コースの船の定員１４０名で当日は満員です。コンシェルジュの説明で、上陸したら日傘は使えないこと酔い止めのツボなどの注意事項を聞きながら、事前に準備しておいた酔い止め薬を配り、上陸に備えて準備万端です。１０時３０分予定通り出港し、世界遺産登録となったジャイアント・カンチレバークレーンを右手に見ながら海上を進みます。このクレーンは明治４２年（１９０９年）に建設された電動クレーンで英国アップルビー社製です。当時

はタービンやボイラーなど大型機械の船舶への搭載と陸揚げのために建設され、現在も船舶用プロペラの船積み用に使用されています。

船は伊王島（いおうじま）を経由し、軍艦島へ。途中、９時台に出発したクルーズ船が上陸できずに引き返し、私たちの船も上陸できないかもしれないとの案内がありました。上陸できなかった場合は、最近完成したデジタル軍艦島ミュージアムへ案内しますとのこと。しかし皆さんの願いが通じたのかどんどん天気も良くなり軍艦島へ無事に上陸することが出来ました。上陸してからは見学ポイントの３ヶ所でガイドさんの説明があり、当時の生活の様子や現在の建物の状態などを教えていただきました。平成２７年７月５日世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産 ～製鉄・製鋼、造船、石炭産業～」として正式登録され、端島自体は明治３０年（１８９７年）から昭和６年（１９３１年）にわたる６回の埋め立て工事によって､約３倍の面積に拡張したこと。その大きさは南北に約４８０メートル、東西に約１６０メートルで､面積は約６.３ヘクタール。高層鉄筋コンクリートが立ち並ぶその外観が軍艦「土佐」に似ているところから「軍艦島」と呼ばれるようになったことや最盛期の昭和３５年（１９６０年）には約５３００人が居住していたそうで、明治の中期から昭和４９年（１９７４年）に閉山無人島になるまで、国内外の石炭需要をまかない八幡製鉄所へも原料炭を供給し日本のエネルギー政策を支えたこと。大正５年（１９１６年）に建てられた日本最古の鉄筋コンクリート造の７階建の建物やX 階段、建物同士が渡り廊下で繋がっており雨の日でも濡れずに移動できたとの説明がありました。

クルーズ終了後は、長崎ちゃんぽん発祥の地､「四海楼」にて中華料理をいただきました。おつまみのちゃんぽんせんべいに始まり、水餃子、スーパイコ（酢豚)、長崎ちゃんぽん、長崎皿うどん（揚げ麺)、タピオカココナッツミルクをおいしく頂きました。

周遊コースは同じく世界遺産登録となったグラバー園を散策し、大浦天主堂やお土産街道などで観光を楽しみました。グラバー園はスコットランド出身の商人トーマス・ブレーク・グラバーが居住していた建物であり国内に現存する最古の洋風木造建

築でビジネスや文化交流の拠点となりました。対岸に三菱長崎造船所を眺望できる高台に位置しています。グラバーは小菅修船場や高島炭坑の建設に協力し、日本の主要産業の近代化に貢献したといわれています。

全員集合後は、バスで長崎市内を車窓からの観光を行いました。途中、長崎新地中華街、長崎駅を経由してそれぞれ降車する観光参加者との別れを惜しみながら、鎖国時代の貿易港であり、バドミントン、ビリヤード、ビール、コーヒーの文化がここを通じて広まったといわれている「出島」を初め、長崎の人々は東洋人以外をすべてオランダさんと呼んでいたことからその名がつけられた石畳の「オランダ坂」。毎年８月９日に平和記念式典が挙行されている「平和公園」と高さ 9.7 メートル重さ 30 トンあり、天を指した右手は原爆の脅威を、水平に伸ばした左手は平和を、軽く閉じた眼は原爆犠牲者の冥福を祈るという想いが込められた「平和記念像」。原爆の爆風で鳥居の柱が一本吹き飛ばされた状態の山王神社「一本柱鳥居」を見学いたしました。

バスはゴルフ大会会場のパサージュ琴海に到着し、観光コースの旅程を無事に終了いたしました。一日の旅程でありましたが少しでも長崎を楽しんでいただけましたら幸いです。ご参加いただきまして誠にありがとうございました。

長崎県立鹿町工業高校出前授業取材報告

広報部　稲益　哲也

平成 27 年 12 月 17 日（火）10 時 55 分から 15 時 20 分まで長崎県立鹿町工業高校において、土木技術科 2 年生男子 40 名を対象に、佐世保支部主催による座学及び測量技術講習のための出前授業が行われました。今回の出前授業の様子をご紹介させていただきます。

【長崎県立鹿町工業高校】

今回の授業内容は、午前中に「土地と境界線」のテーマを基に座学が行われ、午後からは測量実習が予定されました。当日は明け方まで雨が降っていたことにより、午後からの野外実習への心配がありましたが、昼前から天候が回復し、予定通りに野外実習を行なうことが出来ました。

座学では、前川会員による世間一般の住宅地図と公図の違い、登記簿や地積測量図の解説から土地家屋調査士の平均年収は？といった興味深い事までの楽しい内容の講義が行われました。

【座学の様子】

休憩後、山口会員による測量の歴史・不動産についての講義が行われました。不動産の価格の内容で、1 ㎡辺りの長崎市中心部の土地の価格は？では福岡の天神はその何倍？では東京新宿では？銀座では？といった生徒さんへの質問形式の講義もあり、生徒さんも、楽しそうに講義を受けていた様子でした。その後、池田会員による空家対策特別措置法による講義、稲田会員によるマイナンバー制度の講義が行われ、午前の部の座学講義が終了しました。

【座学の様子】

午後からは生徒達が各班に分かれ、測量機器を使用した野外実習が行われました。天候が回復し、青空の下での実習でしたが、この日は気温が低く、冷たい気候の中での講義となりました。

【野外実習の様子】

三脚の据え方、ピンポールの正しい使用方法など各会員の指導のもと、おぼつかないが、一所懸命に作業を頑張っていました。事前に出されていた課題をやり遂げるため、早く終わった班、時間がかかった班ありましたが、最後まで残った班も寒いなか頑張って課題をやり遂げました。

【野外実習の様子】

場所を教室へ変え、野外実習で生徒達が実測した成果の検証、また各班、地積測量図記載の座標値をプロット・結線し図面作成、三斜による求積作業が行われました。生徒達も各会員による助言を参考に作業に取り組んでいました。

【教室での実習の様子】

最後に生徒代表による感謝の言葉を頂き、出前授業は終了となりました。毎年恒例となっている鹿町工業への出前授業をご紹介させていただきましたが、生徒さん達は将来、さまざまな分野での仕事でご活躍されることでしょう。その中で、今回の出前授業の受講により、土地家屋調査士という仕事に少しでも関心を持っていただき、将来この生徒さん達から、一人でも多くの人に土地家屋調査士としての職業でご活躍をしていただけたらと思いました。

長崎県立北松農業高等学校出前授業取材報告

広報部　久原　克馬

平成２７年１２月８日（火）１１時００分から１２時５０分まで長崎県立北松農業高等学校において、園芸科学科（３年生）の生徒及び教職員をあわせた９名の方を対象に出前授業が行われました。授業の様子を取材したく学校を訪問させて頂きました。

当校での出前授業は平戸支部の川尻修治会員により、平成１６年から初められ今年で１２回目を迎えました。

【長崎県立北松農業高等学校】

授業内容は座学と測量実習に時間割され進められました。

座学では、川尻会員の自己紹介に始まり「土地家屋調査士という職業と仕事内容」、「測量実習に関係して、測量の種類や観測手簿の記入方法等」基礎的な内容を事前に準備された資料をもとに丁寧にわかりやすく進められました。

測量実習では、１対回観測での多角測量を行いました。二班に分かれ生徒全員がトランシットの据付から観測手簿の計算まで一連の作業を行いました。

【座学の様子】

【測量実習の様子】

【測量実習の様子】

授業は、途中笑いも誘いながら終始楽しい雰囲気の中で進められ、生徒からは積極的な質問も出るなど最後まで全員が授業に集中していて学ぼうとする意欲を感じました。

出前授業を取材して、土地家屋調査士という職業の啓発や若い人たちが将来の職業として土地家屋調査士を志す機会につながるなど活動の大切さを改めて考え、継続していくことの必要性を実感しました

【授業終了後に生徒の皆さんが育てたポインセチア・シクラメンを頂きました】

島原市立第二中学校出前授業報告書

広報部　松本　忠寿

毎年恒例となった島原市の中学生に向けた出前授業が行われました。九年目となった中川島原支部長による出前授業ですが、島原市内に五校ある中学校の中から毎年一校へ出向き行われているものです。今年は島原市立第二中学校の二年生九九名を対象に土地家屋調査士の仕事がどのようなもので、それらが日頃の暮らしにどのように結びついているのかを生徒たちにとってはおそらく聞いた事のない専門用語を時折まじえ、ユーモアを含みながら受講した生徒にもわかりやすい説明をされていました。

植木校長先生を始め、担任の先生方も中川支部長の話を興味深く聞いておられたようで、授業終了後には感謝の言葉を頂きました。このような先生方の教育の賜物だと思われますが､受講した生徒の表情も生き生きとしていました｡生徒からの発言も多くあり、自然な笑いも起きていて、二中のスローガンである【強く　熱く　美しく】の通り充実した学校生活を過ごされているのだろうと感じ取ることができました。

中川支部長が事前に用意されていたものは、畳表を二枚と「マンガで見る土地家屋調査士」の冊子（１００冊）でした。授業の内容については、文章で説明を織り交ぜて記していくのが非常に難しいので、授業で挙げられていた用語を列記させていただくことでご了承願いたいと思います。わかる方にはわかるとは思いますが、興味が湧いたらぜひ来年の授業を参観されることをお勧めいたします。

＜ここから＞

畳二枚のタテ・ヨコの長さは？　同じ長さでしょうか？　生徒からいろんな声が上がる

この面積を一坪といいます。

自分の住所を知っていますか？

人の表示は、住所・氏名・生年月日でその人が確認できます。

来年は高校受験ですから入学願書を書かなければなりません。自分の住所を自分ではっきりと書きましょう。親に書いてもらわないように！

住所の番号は、土地の地番が根拠になっています。

不動産　⇔　動産　動産は引き渡した時に所有できますが、不動産は台帳に記載されなければ自分のものだと証明できません。

不動産を所有できる人は誰でしょうか？　赤ちゃんは所有できますか？中学生は所有できますか？　（ほとんどの生徒から、できません！の声）

それは間違いです。中学生でも赤ちゃんでも不動産を所有することができます。

ただし、未成年者は自分だけでできないことになっています。

この学校の土地は誰のもの？　島原市は人間？

自然人　⇔　法人　法人とは法律で人と同様の権利と義務を与えられているものです。

教育を受ける権利　⇒　憲法

通学路に空き家がありますが、誰のもの？　誰も住んでいなくて邪魔だったら島原市が壊してもいいですか？　空き家になっても島原市は壊せません

死亡によって相続が発生します。

土地家屋調査士はこのような問題でも活躍できるようになり、島原市と協定を結びまし

た。

A さんの土地の上に B さんが家を建てました。この建物は誰のもの？（二分した答え）
妨害排除請求
5 階建てマンション各階所有者が違う　区分所有
融資－銀行はどうやってお金を貸すのでしょうか？
30 年から 35 年ローンを組んで家を建てています。

それらの基となる台帳を作るのが土地家屋調査士の仕事です。
地積測量図､建物図面､各階平面図　誰もが台帳や図面を見られるようになっています。
公示制度、情報公開制度　取引の安全性を図るためにこのようになっています。
不動産登記法といい民法を含めた仕事をしている国家資格です。
その他に知っている資格はありますか？
どのような仕事にも資格が必要になっています。

私がまだ若いころの話ですが、勉強しようと思っても専門学校や教えてくれる人がいなかった。専門書を 1 冊買うのも福岡まで行って買っていた。
今あなた達は、昔と違っていろんなことを教えてもらえる環境にあります。そのことに対して『ありがたい』との感謝の気持ちを持ってください。
将来、自分の力で生き抜くためにその基礎力をつけています。一生懸命努力することが必要です。

＜ここまで＞

これらの内容をわずか 50 分という限られた時間で生徒（もちろん先生を含みます）の

関心を引き込みながら、説明を終えられたのには、これまでの経験と土地家屋調査士という仕事に対する情熱、そして地元地域への愛情があって始めて成せるものであると思いました。

授業の後、中川支部長と昼食をご一緒させていただいたときに、この辺りのをお聞きしたところ、やはり地元を活性化させたいということ、土地家屋調査士のことをより多くの方々に知ってもらいたいということ、そして若い土地家屋調査士の方がこれから一層活躍できるようにしたいとの思いを熱くて出汁のきいた具雑煮を頬張りながら教えていただきました。

この度の出前授業を取材して、中川支部長の話にあったように、教えてもらえる環境であることに感謝し、より一層の努力を続けながら地域に貢献できる資格者の一員であり続けなければならないのだということを感じました。ありがとうございました。

島原市との空家等対策に関する協定書調印式

広報部　稲益哲也

平成 28 年 1 月 27 日に島原市と、空き家の有効活用や撤去などの対策についての「空家対策に関する協定書」の締結に係る調印式が島原市役所 2 階第 2 応接室において、古川隆三郎島原市長をはじめ、長崎県土地家屋調査士会より針本久則会長、船津学副会長、嶋隆信社会事業部長、松本忠寿広報部長、中川忠則島原支部長(島原市議)の出席のもと執り行われました。

本協定書では、空家の対策においての土地家屋調査士への支援内容の説明がなされ、調印者の古川島原市長、針本長崎県土地家屋調査士会会長及び各出席者の紹介後、協定書に署名捺印され、島原市と長崎県土地家屋調査士会間で協定書が交わされました。

現在の島原市は、1 年以上使用されていない空家の数が約 680 軒存在しているとの深刻な状況であり、空き家対策へ向けての早急な対応が望まれています。今後は空家対策を行うために、専門家を交えた協議会を設置する予定ということです。

今回の協定書締結により長崎県土地家屋調査士会は、協議会メンバーに加わり、行政からの依頼による空き家への立ち入り調査や建物滅失登記、建物表題変更登記~~申請~~、境界確認業務等の専門性を生かした分野で地域社会へ協力でき、社会に大きく貢献できるものだと思いました。

平成２７年度　第２回全体研修会報告書

研修部　田代　彰

平成２７年１１月２５日（水）、東彼杵町の東彼杵総合会館において第２回全体研修会を境界問題相談センターながさきと合同で開催しました。

研修内容は以下の通り

（１）「３ブロック合同研修会報告」
　　講師　長崎県土地家屋調査士会
　　船津学副会長・総務部長

（２）「マイナンバー制度の概要」
　　講師　長崎県土地家屋調査士会
　　角良一業務部長，田代彰研修部長

（３）「契約書の法理と留意点」
　　講師　長崎県土地家屋調査士会
　　顧問弁護士　塩飽志郎先生

船津学副会長・総務部長より，四国・九州・中国ブロック協議会合同研修会の報告をしていただきました。

主に空き家対策についての講義を行われ、深く理解することができました。

また、前振りで新しい講義の方法やプレゼンの仕方などをお話され、今後の研修会等で活用でき意味深いものでした。

続いて、角良一業務部長・田代彰研修部長よりマイナンバー制度の概要について説明がありました。

制度の概要の説明の後、土地家屋調査士及び経営者としての注意点の説明があり、今後の事務所経営に役立つものでした。

最後に、長崎会の顧問弁護士であられます塩飽志郎先生より契約についての講義をしていただきました。

契約とは何か、効力は、どのように交わすのか、法的な意義は何かと意味深く今後の業務を行ううえで大変参考になる講義でした。

連 合 会 便 り

日本土地家屋調査士会連合会　理事　　山口　賢一

昨年６月の日本土地家屋調査士会連合会（以下：「連合会」という）総会をもって、連合会理事に就任し、早８カ月が経過しました。今回、広報部より『連合会についての記事を書いてほしい』と寄稿依頼を頂き、連合会の情報をお伝えできる機会が少ない私にとって、このような依頼は非常にありがたく感じています。会員の皆様にとって、連合会が身近な存在となり、また読者の方々には、土地家屋調査士について理解を深めて頂けると幸いです。

初稿ですので、連合会の概要からお伝えしたいと思います。連合会事務局は、羽田空港から公共機関を乗り継いで約５０分、東京都千代田区三崎町一丁目に位置しています。連合会事務局近くを流れる神田川を渡ると、東京ドームが目の前に現れます。土地家屋調査士会館は７階建で、４階～６階が連合会のフロアとなっています。（１階～３階：東京土地家屋調査士会、５階：全国土地家屋調査士政治連盟、７階：東京公共嘱託登記土地家屋調査士協会）

土地家屋調査士会館の外観

役員は、林千年会長を筆頭として、副会長４名、理事２５名（会長指名理事３名・ブロック推薦理事２２名）、監事４名（予備監事１名含）で構成されています。制度対策・総務・財務・業務・研修・広報・社会事業の各部と研究所によって組織、その下に約２０の委員会やプロジェクトチームが設置され、連合会事務局職員１８名は、上記組織に基づき担当する部署に就いています。

事務局風景

林会長の再任後、前期の取り組みであった「境界紛争ゼロ宣言！！」の発信、「地図作りへの参画強化」を継続しつつ、今期は土地家屋調査士の「調査権限の強化」と「業務処理環境の改善」に取り組んでいます。今社会的問題である空家対策に関しても、最重要課題として対応しています。

会議室風景

また本年は、筆界特定制度創設１０周年を迎える年であります。連合会は、１月１４日に法務省と共同主催で「筆界特定制度創設１０周年記念講演会」を開催しました。講演者である房村精一先生（元法務省民事局長　日本土地家屋調査士会連合会顧問）の記念講演『筆界特定制度１０年の歩みと未来への提言』については、「土地家屋調査士白書２０１６」（３月２５日発刊予定）の特集記事として掲載します。平成１０年に法務省で内部研究・検討が始まり、平成１８年１月施行までの経緯を知らない新人会員の方には、是非ご一読頂きたいと思います。

あらゆる社会経済情勢が複雑に変化していく中、土地家屋調査士が国民からの信頼と期待により一層応えていく資格者であれるよう、今後も事業や会務に努めていきたいと考えております。

平成２７年度九州ブロック協議会新人研修会報告書

長崎支部　前田　宏光

平成 28 年 1 月 30 日（土）から 2 月 1 日（月）までの 3 日間、大分県の大分県労働福祉会館（全労済ソレイユ）において日本土地家屋調査士会連合会九州ブロック協議会新人研修会が開催されました。

1 日目の講義は「会員心得　土地家屋調査士業務を行う上での心構え」「禁止・義務事項 業務上の届出、報告事項・倫理規定」「土地家屋調査士に必要な測量の基礎の基礎」の講義が午後から夕方まで行われました。これから土地家屋調査士として業務を行っていくにあたって、とても大事な講義でした。

その後、研修会場の隣にある大分オアシスタワーホテルにて懇親会が行われました。

懇親会で各会の方々とも仲良くなり、とても楽しい会となり、おそくまで親睦がはかれました。

2 日目は、8 時 30 分から 18 時 45 分まで丸 1 日講義があり睡魔とも戦いながら受講しました。

講義は、「懲戒処分事例の紹介と倫理」「調査・測量実施要領について」「93 条調査報告書の書き方とサンプル」「土地家屋調査士にとっての地図と境界」「公共嘱託登記土地家屋調査士協会の紹介と実例に沿った報酬計算の考え方と演習」「実務経験談の交流」という実務に沿った講義内容で、初めて知った内容もあり大変勉強になりました。

3 日目は、「戸籍の職務上請求書の取扱上の注意点と書き方」「オンライン申請について」「土地家屋調査士の責任、事故例、保険について」「土地家屋調査士国民年金基金の説明」「政治連盟の紹介」の講義がありました。

その後、閉会式が行われ、修了証書を頂きました。

これから土地家屋調査士として、業務を行っていく為に必要なとても大事な事を教わった、充実した新人研修会であったと思います。

最後に、九州ブロック協議会の役員皆さま、各会の会長皆さま、大分会の講師の皆さま、お忙しい中このような新人研修会を開催していただきありがとうございました。

平成２７年度九州ブロック協議会新人研修会報告書

長崎支部　深堀　正文

平成２７年度新人研修会が１月３０日から大分市で開催され、３日間参加させて頂きました。

私は昨年の７月に登録したばかりの新人ですが、調査士試験から開業までに数年経っていた事から、この研修を通して改めて土地家屋調査士の関係法令を勉強させて頂けるという事で楽しみに１日目を迎えました。

最初の講義から「会員の心得、土地家屋調査士業務を行う上での心構え」という業務を行う上で基本となる講義でした。

その後も、調査士業務を行う上で守るべき倫理規定等の講義があり、土地家屋調査士の責任の重さを実感しました。

１日目の講義は夕方で終わり、今から懇親会という楽しみ初日だったはずなのに、前日から体調を崩し、懇親会に参加できる状態では無かったため、ホテルに帰り療養する事にしました。大事な日に体調を崩してしまう運の悪さなのか日頃の体調管理の悪さなのか、悔いを残す結果となりました。

昨日の療養が効いたのか少し調子がよくなり２日目、３日目の講義を無事受ける事ができました。講師の方の話しが面白いのと興味ある内容だったので、アッという間の３日間でした。

新人研修会には、すでに開業している方や､今後 開業を考えている方が参加されていましたが、土地家屋調査士として同じスタートラインに立って、開業して迎える悩みや楽しみを共感できる仲間と出会えた事が３日間で得た大きな財産となりました。

３日間という短い研修期間でありましたが、今回の講義を受けて学んだ事を基本に土地家屋調査士として恥ずかしくない仕事を行っていきたいという思いと、講師の方々のように、大勢の前で自分の知識を伝える力を身につけたいと思いました。

最後に、研修開催にあたり準備して頂いた役員の皆様、分かりやすく講義をして頂いた講師の方々、誠にありがとうございました。

平成２７年度九州ブロック協議会新人研修会報告書

五島支部　木場　盛雄

昨年（平成 27 年 9 月 10 日）調査士登録を受け開業しました、五島支部の木場盛雄です。本年 1 月 30 日から 2 月 1 日、大分にて開催された新人研修会に参加させて頂き、その感想等を報告します。

最初は、新人研修が大分開催ということで、遠いし、得るものがあるのか、資料配布してもらいそれを勉強すれば十分なのではないか、と思っていました。しかし、研修が終わり、今は研修に参加して本当に良かったと思っています。

その一つ目の理由は、同じ目標を持ち、同じ悩みを抱える入会同期の多くの人たちと会え､話しができ､知り合えたことです。

二つ目の理由は、忙しい仕事の合間を縫って資料準備、研修の段取り、研修当日の講師、事務局役を当然のようにやっておられた先輩調査士の方々の存在です。

土地家屋調査士の仕事は、一匹狼の仕事で、個人主義者の集まりではないのか、と思っていました。しかし、先輩方は、同じ調査士の後輩というだけの縁も所縁もない我々のために、貴重な時間を割いてくれました。仕事は個人でも、その背後には多くの信頼できる同業の仲間がいる、と思えて大変心強くなりました。

三番目の理由は、資料を読み込むだけでは理解できない、現場の生の雰囲気・実情を講師の方々から伺えたことです。資料に書かれている言葉の本当の意味を理解し、感じることが出来たように思います。

調査士受験の際は、全くの業務未経験者でもあり、法令・マニュアル等を読み込み理解する、という勉強でした。今にして思えば、本の字面だけを追いかけ、本当の理解に至っていなかったように思います。

四番目の理由は、先輩調査士、同期の調査士ともに、生き生きとしている、と感じられたことです。事務所の運営等、大変なことも沢山あると思うのですが、それらを感じさせず、若々しく感じました。サラリーマンなら、いい加減くたびれてくる年代の方々も、生き生きと目を輝かせながら、話しをしてくれます。この道を選んで正解だったかな、と思えました。

他県会員とは、たまたま懇親会の席が同一テーブルということもあり、宮崎会の方々とお話しする機会が多かったのですが、楽しい地域事情も伺え、先輩調査士の方も気さくで、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

最後に、九州ブロック事務局、大分会の皆様の細部に目配り・気配りされた研修会運営に感謝致します。この恩をお返しできるよう、まずは自分の業務を軌道にのせ、落ち着いたら、仲間の調査士への恩返しができれば思っています。

事務局からの挨拶

事務局長　多田　一郎

「局長、何か、深刻な顔をしてなんば考えよっと？」　「いや、何でもなかです。いつものことですから（笑）。」

ある日、一人の会員の方に声をかけていただいた。実は、広報部から原稿を書くようにとの依頼をいただき、考えていたのでした。悩んで考えた末、何とか原稿を書くことはできました。広報部の方のご要望とはかけ離れたものになりましたが、何卒ご容赦下さい。

さて、事務局で気が付くことの一つに、消費者の方が、「土地家屋調査士」とは建物や土地について、どのくらいの価値があるのかを調査する仕事だと思っている方がおられることです。

最近はマンションの傾斜問題がおこっています。また、以前には一級建築士による構造計算書偽造事件が社会的な問題にもなりまた。

このように、特に自分の建物を調査してもらい、価値はどの位なのか。また、自分の建物は地震などの災害には大丈夫なのか、等の疑問や不安があるのではないでしょうか。逆に言うと、そこには需要があるような気がします。

不動産の価値に関しての専門家としては不動産鑑定士の方がおられます。また、不動産の取引では仲介業者の方に、価格を査定してもらう制度もありますが、まだ、広く普及していないのかもしれません。

次に気付くことですが、幸いにして会員の方へのクレームが少ないことです。これは非常に特質すべきことだと思います。私は以前も団体に勤めていましたが、その時はクレームが多くて大変でした。

これに関係すると思うのですが、勉強熱心な方が多いという印象をもっています。現在全体研修会では、離島の方を対象に、web 研修をおこなっています。離島の多い本県にとっては非常に良い方法だと思います。ですが、全体研修会の受講率も約５０％ですので、もっと上げる必要があります。

この研修会については、事務局にとってというより、私にとって非常に有り難いシステムの導入がありました。バーコード付きのカードを利用する、このシステムを開発していだいた方には大変感謝しております。

さて、前任の局長からは慣れるまでには２年位はかかるだろうと言われていました。その２年がこの３月にきます。昨年は日調連の親睦ゴルフ大会や九州ブロックの協議会事務局など、新たな業務がありましたが、２年がきても「慣れる」には程遠い状態です。

私が来るまでの３名の勤続年数は平均で約１７年、現在は５年弱です。まだまだゆ

とりが無く、会員の皆さんに充分な対応ができないかと思いますが、少しずつでも仕事を覚え、頑張っていきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。

事務局からの挨拶

事務局員　佐藤　和美

広報部からの依頼により、ご挨拶さしあげます。

早いもので、事務局職員の中では最古参になっているという現実に驚いているばかりです。

勤め出して初めて土地家屋調査士という職業を知ったという有様なので、会員の皆様には多々ご迷惑をおかけしていることと思います。一般の方からのお電話を受けると、何十年も前の図面の問い合わせや、亡くなられた会員様の所在確認等々、その職責の重さに大変だろうなあと他人事のように思うばかりです。

このような団体事務局という特殊な職場で長く勤務させていただけるのも、ひとえに会員の皆様の温かい対応のおかげだと感謝しております。

皆様に親しみやすい事務局を、ということで笑顔で挨拶を心掛けておりますが、実践できていますでしょうか。

総会・研修会等でしかお会いできない会員様、電話やメールでしか交流のない会員様等、長く勤めていても顔と名前が咄嗟に一致しない事が多々ございます。お近くまで来られましたら、是非事務局までお立ち寄りください。近況など聞かせていただければ幸いです。

《 編 集 後 記 》

広報部

この度 Web 会報長崎の第６号を公開するに至り、会長を始め多数の皆様へ寄稿のご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。

今回の会報は寄稿をお願いする方々に対し、広報部の方から事前にテーマを設けてご案内をさせていただきました。

寄稿者の方々も、そのテーマに沿って真剣に考えて頂き、手間をかけて筆耕して頂いたお陰で、濃密な内容をお届けする事ができました。

新体制で取り組んだ活動もようやく１年が経ち、部長を始め各部員も広報部としての活動の流れを掴んできたところです。

平成２８年度においても、長崎県土地家屋調査士会の対外的・対内的広報を積極的に行い、広報部一丸となって皆様が楽しみにしていただけるような、会報お届けしていきたいと思います。

長崎県土地家屋調査士会の皆様へ

「集団扱自動車保険」ご加入のおすすめ！

◆日本土地家屋調査士会連合会様と集団契約を締結させていただいております。

1. 自動車保険

＊保険料が割安・・・一般で加入する場合に比べ保険料は**約5%割安**
＊他社からの無事故割引も継承できます。

三井住友海上火災保険㈱　代理店

○長崎・諫早・大村地区担当
ノバリ長崎トータルサービス　〒850-0033　長崎市万才町 6-35　三井生命長崎ビル５階
TEL(095)832-2430　FAX(095)832-2580
E−mail:totalservice7628@air.ocn.ne.jp
http://www.hoken3704.net/

○島原半島地区担当
(有)ライフサポート　〒855-0862　島原市新湊 1-34
TEL(0957)64-5940　FAX(0957)65-0282
E−mail:life110@fsinet.or.jp
http://www.dairitenhp.com/life110/

○佐世保・北松・東彼地区担当
ＭＳ長崎(株)　〒857-0864　佐世保市戸尾町 3-5　太陽生命ビル４階
TEL(0956)59-6065　FAX(0956)59-6064
E−mail:info@ms-nagasaki.jp

【調査士連合会 会報 広告2015.　号】H27.9.28

2016年合格を目指せ!!

合格者がススメル、中・上級者のための

土地家屋調査士 実戦答練'16

毎年多くの合格者を輩出する実戦演習講座

通学講座
通信教育

「合格に繋がる知識を"修得する"こと」を一番の指導コンセプトに

土地家屋調査士の本試験合格を目標とする資格予備校には、それぞれ特色をもった様々な内容の答案練習会が存在します。

しかし、その中で受講生の学力を効果的に向上させる内容の講座はどれほどあったでしょうか。

おそらく、それらは基本的に受講生自身が「解いて学ぶ」講座であったと考えられます。したがって、「合格の壁」をなかなか突破できない受験生にとっては、いつまでも足踏み状態が続くことになっていました。

東京法経学院では、そのような受験生まかせの「解いて学ぶ」だけの学習スタイルはすでに終わりを迎えたと考え、本試験突破に必要な知識を効果的・効率的に修得できるよう受講生に適切な指導を行うことが受験予備校としての責務であり、これからの時代に希求されることであると心得ています。

本試験を先取りする

「2016年度 土地家屋調査士試験」合格を目標とする受験生にとって、春からが本格的な勝負どころとなります。これから8月の試験本番に向けての対策として、実戦力の強化は勿論のこと、本試験で予想される出題レベル・出題形式に対処するにあたり、柔軟な解釈と正確な知識、適切な時間配分を身につけなければなりません。

本学院の「実戦答練」では、本試験の半歩先を行く問題を解答することが合格への必須条件ではないかと考察し、今後の本試験で予想される出題形式で問題を提示し、知識の正確さ、解釈の柔軟性の修得を図ります。つまり、いつ何時、難易度や出題形式に変更が加えられるか分からない本試験に対応できる、深い知識と高い順応性の会得をめざすのです。

本講座には全国公開模試も含まれておりますので、実戦に即した時間配分の体得、模試受験者全体における自身の成績位置の確認、総合的な実力強化などを図り、試験突破への総仕上げを行うことができます。

信頼できる教材でガンバル受験生を応援します。

☆通信教育では、3タイプ(DVD付,DL,教材学習)を募集

■ 学 費
- ●通 学 … 139,900円(税込)
- ●通 信 [DVD 付] … 168,700円(税込)
- ●通 信 [ダウンロード] … 134,700円(税込)
- ●通 信 [教材学習] … 119,300円(税込)

2016年4月上旬開講

通学講座は**教育訓練給付制度対象講座**となります。詳細は、当学院までお尋ねください。

LICENSE SCHOOL 創立1961年・高実績と信頼
東京法経学院
TEL 03(6228)1453
FAX 03(3266)8018
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-22ナカバビル1F
E-mail info@thg.co.jp
ホームページ http://www.thg.co.jp/
お申込みはホームページからも承っております。

【特別価格・送料無料】好評図書のご案内

弁護士が直面しやすい「問題や疑問」に対する方策を提示！

実例 弁護士が悩む 不動産に関する法律相談

専門弁護士による実践的解決のノウハウ

第一東京弁護士会 法律相談運営委員会 編著
2015年7月刊 A5判 488頁 本体4,200円+税 ➡ **特価4,080円(税込)**

- ●実例をもとに、事件解決までの具体的な道筋を紐解く。
- ●各事例では「事件の概要図」とともに「本相談のポイント」を明示。
- ●事例にて言及できなかった「特殊な問題」を中心に弁護士実務を議論した座談会の内容も収録。

ポイントを網羅した全205問！関係する全ての実務家にとっての必携書

日本司法書士会連合会 会長推薦

Q&A 道路・通路に関する法律と実務

登記・接道・通行権・都市計画

末光祐一 著
2015年6月刊 A5判 584頁 本体5,300円+税 ➡ **特価5,150円(税込)**

- ●宅地、不動産取引に不可欠な道路、通路などの法的知識や実務のポイントをQ&Aでまとめた一冊。
- ●判例先例も多数収録。
- ●登記実務にとどまらず、隣地や通行に関するトラブルになどに有益な情報も収録。

必要知識を網羅した全415問！

日本司法書士会連合会 会長推薦

Q&A 農地・森林に関する法律と実務

登記・届出・許可・転用

末光祐一 著
2013年5月刊 A5判 616頁 本体5,600円+税 ➡ **特価5,440円(税込)**

FAX注文書　FAX 03-3953-2061　特典コード　203497

FAXの送信間違いには、十分ご注意ください。※商品のお届け方法は郵送となります。

書名		特価(税込)	部数	書名		特価(税込)	部数
実例 弁護士が悩む 不動産に関する法律相談	40692 弁不相	4,080円	部	Q&A 農地・森林に関する法律と実務	40508 農地森林	5,440円	部
Q&A 道路・通路に関する法律と実務	40688 道路	5,150円	部				

お名前　フリガナ
ご住所　〒　E-mail:
TEL:　FAX:

※ご記入いただいた個人情報は、ご注文いただいた商品の発送、お支払い確認などの連絡および弊社からの各種ご案内(刊行物のDM,アンケート調査など)以外の目的には利用いたしません。

日本加除出版　〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号　http://www.kajo.co.jp/
TEL(03)3953-5642 FAX(03)3953-2061(営業部)
営業時間：月～金(祝日は除く) 9:00～17:00

FUKUI COMPUTER

フィールドデザインで日本の未来を創る

測量計算CADシステム「BLUETREND XA」

BLUETREND XA 2016 NEW!
測量計算CADシステム【ブルートレンド エクサ】
Windows10 対応!

全国の測量業、土地家屋調査士業において圧倒的シェアを誇る測量計算CADシステム「BLUETREND」シリーズの最新版。
豊富な測量計算機能と、それに連動した専用CADで、「都市部」「平野部」「山間部」などあらゆるフィールドの測量業務に迅速に対応。
フィールドワークからオフィスワーク、データの管理・活用・連携まで、測量業務をフルサポートします。

フィールドワークからオフィスワーク、データ管理・活用・連携まで、あらゆる業務をフルサポート!

軽快なフィールドワークを担う!

X-FIELD
現場端末システム【クロスフィールド】

現場仕様の抜群の操作性! 情報収集・集約もこの1台!
さらに成果に直結! 現況観測はもちろん、縦断観測・横断観測も!

各種データを一元管理。
調査士業務全般をワンパッケージでサポート。

TREND REGIC
土地家屋調査士事務支援システム【トレンドレジック】

不動産表示登記業務に必要な各種書類の作成から、事件管理・顧客管理・立会の管理に至るまで、調査士業務全般をサポート!

測る! 撮る! 収集! 現場で手軽に軽快に!
どこでも観測
アンドロイド スマホアプリ
GooglePlayより無償ダウンロード

現地調査ツール
建物調査ツール
杭打ちツール
電子野帳ツール

福井コンピュータ株式会社
本社／〒910-0297 福井県坂井市丸岡町磯部福任5-6
札幌・青森・盛岡・仙台・水戸・宇都宮・高崎・新潟・長野・埼玉・千葉・東京・横浜・静岡・名古屋・岐阜・福井・京都・大阪・神戸・岡山・高松・松山・広島・山口・福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄

●製品に関するお問い合わせは　0570-550-291
カスタマサポートセンター【受付時間】9:00～12:00／13:00～18:00
※土曜、日曜、祝日、弊社指定の休業日は除きます。
上記ナビダイヤルは福井県坂井市に番号し、番号地までの通話料はお客様のご負担となります。また、通話料金につきましてはマイラインの登録に関わらず、NTTコミュニケーションズからの請求となります。携帯電話からのご利用の場合は20秒ごとに10円の通話料がお客様のご負担となります。

●製品の詳しい情報、カタログのご請求は
福井コンピュータ　検索
http://const.fukuicompu.co.jp

御愛顧感謝キャンペーン

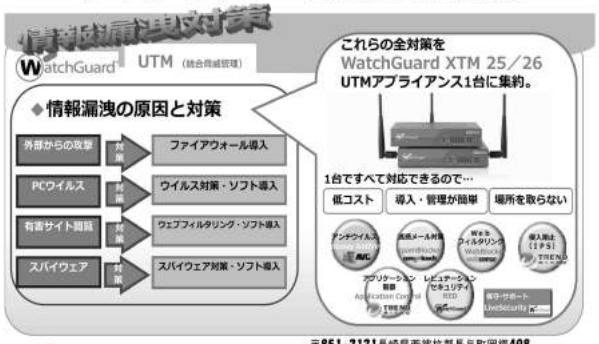
カウンター料金不要
無駄を無くした、かしこい選択。

カウンター保守料0円

TASKalfa

本当に今の料金で満足していますか？ もっと1枚あたりの費用や月額リース金額が安くなればいいのにと思ったことはありませんか？ 弊社では、メーカーから認定をうけている自社サービスマンによるメンテナンスを行っておりますのでお客様にあった保守方式をお選び頂けます。是非ご相談ください。

マイナンバー情報漏洩対策



九州精密株式会社

〒851-2121長崎県西彼杵郡長与町岡郷498
TEL095-840-5282 FAX095-887-0282
E-mail info@k-seimitu.jp
http://www.k-seimitu.jp

© 2012 KYOCERA Document Solutions Japan Inc.

Y-ppt.60.01.120507

ご存知ですか？ 会員皆様方の福利厚生の一環として、法倫會館と指定契約割引を交わしています。

長崎県 土地家屋調査士会 さま

特別特典のご案内

葬祭 特典内容

送る人、送られる人の立場にたち、誠心誠意ご奉仕いたします。

担当をさせていただく村田です。なんでもご相談ください。

適用範囲

ご家族も契約割引が適用できます（含む）までと幅広くなっています。

互助会との併用可能！

法倫會館の互助会システムは、契約割引と併せてご利用:葬儀施行する事が、でき大変お得です！

互助会 Kコース 月々1,500円×120回 総額180,000円

HOURIN 50th

法倫會館
株式会社 長崎新生活センター

長崎法倫會館 TEL095-849-4000 長崎市茂里町3番31号

諫早法倫會館 TEL0957-24-4000 諫早市栄町120番地1

佐世保法倫會館 大塔斎場 TEL0956-33-4000 佐世保市大塔町616番18号

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい
桐栄サービスの願いです

職業賠償責任保険	会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。
団体所得補償保険	保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1か月につき補償額をお支払いする制度です。（最長1年間）
団体総合生活補償保険	保険期間中、国内外を問わず 1）日常の生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。 2）病気による入院を日帰り入院より補償します。
測量機器総合保険	会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶然の事故を補償します。
集団扱自動車保険	会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

損害保険代理店　有限会社　桐栄サービス

〒101-0061　東京都千代田区三崎町1-2-10　土地家屋調査士会館6階

TEL：03-5282-5166　FAX：03-5282-5167

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問合わせをお願い致します。

点字印刷・帳票・パンフ・チラシ・自叙伝・会報誌

印刷物のバリアフリー化を目指して！　昭英印刷点字印刷事業部

自費出版のお手伝い・本づくりならおまかせください！　昭英出版

点字印刷物・自費出版についての、ご質問・ご相談はお気軽にお問合わせ下さい

SHOUEI PRINTING CO., LTD

昭英印刷有限会社

本社／工場　〒852-8117 長崎県長崎市平野町13-13　TEL 095-844-0231(代)　FAX 095-847-7085

E:mail shouei@mxb.cncm.ne.jp　URL http://www5.cncm.ne.jp/~shouei/